

木材ジャーナル 名古屋・せぶ

平成29年4月号 No.119

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

名古屋港木材産業協同組合 第42回通常総会開催される

名古屋港木材産業協同組合の第42回通常総会が平成29年3月27日（月）午後3時00分から名古屋港木材会館会議室で、委任状を含め51名の組合員が出席し開催されました。

総会は、嶺木理事長を議長に選出し、次の議案を審議し、何れも原案どおり承認可決されました。

議事の概要

第1号議案 第42期事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案について

第2号議案 第43期事業計画・収支予算（案）について

（事業計画の要旨）

- ①名古屋港木材産業協同組合の事務所を名古屋港木材会館内に置き、名古屋港木材会館の運営を、引き続き株式会社名古屋港木材会館に委託し、会議室を組合員及び関係者の利用に供する。
- ②組合運営上の諸問題について、関係官公署及び関係団体と折衝協議を行い、関係官公署からの通達等についても組合員への周知に努める。
- ③名古屋港西部臨海地帯の諸問題について、名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会と、官公署側協議組織である「飛鳥村臨港地区連絡協議会」の協議により解決に努める。また、暴走族の排除を含めた地域の犯罪予防及び治安の維持並びに名古屋港西部臨海地帯の発展に努める。
- ④名古屋港木材利用推進協議会を通じて、名古屋木材港の円滑な運営と利用推進を図る。
- ⑤名古屋木材港再編整備協議会に出席し、港湾計画改訂に反映させるため、将来の西部木材港のあり方について意見を述べる。
- ⑥組合員の事業に関する経営技術等の改善向上、労働災害等の防止及び組合員に諸情報の提供を行う。



- ⑦組合員に対する福利厚生事業として、名古屋木材健康保険組合の事業を後援または、共催し、保健・レクリエーション事業に参加する。
（事業計画の要旨）

収入の部	
事業収益	12,037 千円
賦課金等収入	2,869 千円
事業外収益	3,375 千円
合計	18,281 千円
支出の部	
事業費用	7,656 千円
一般管理費	10,625 千円
合計	18,281 千円

第3号議案 経費の賦課及び徴収方法並びに加入手数料その他決定について

賦課金	平等割（組合員一律）	20,000 円
	面積割 1㎡あたり	2 円
	水面割 1㎡あたり	1 円

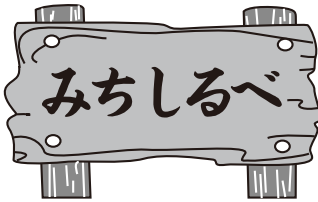
第4号議案 理事1名の補充選挙について

理事1名が辞任し、欠員となっていたため補充選挙を行い、下記のとおり選任されました。

理事 柿内賢治（名古屋港木材産業協同組合）

第5号議案は4ページに掲載しています。

“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを



第二創業期

名古屋港木材産業協同組合
理事長 嶺 木 昌 行

私は、現在の日本は第二創業期にあるのではないかと思う。太平洋戦争が終了した昭和20年からの20年間ほどを第一創業期というのに対し、今後の20年間はそれに並ぶ創業機会と思うからである。これを住宅業界に例えるならば、現在年率80万戸～90万戸の新築着工数が10年以内に60万戸ほどに減少という予想が確信されているが、この80万戸が60万戸に減少する過程において、現在の住宅業者が扱う戸数は40万戸まで減少し、残りの20万戸はこれから起業する業者が供給することになるのである。新規企業者にすれば、現在ゼロが20万戸まで需要が拡大するという、またとない創業機会である。

日本の経済社会が衣・食・住のそれぞれの分野において80万から40万への大デフレと、0から20万へのインフレという二重構造の時代を迎えることになる私は予想する。その最大の理由は、行き詰った資本主義に替わる新しい経済体制、新しい価値観が少しずつ芽生え、その価値観を充足する新しい住宅が20万戸必要となるからである。

新しい価値観のキーワードは、

「遠より近」

「速より遅」

「モノ、金よりヒト」

「合理より情緒」

といったところか。住宅で言うなら、資産価値やハードとしての建物ではなく、住まう・生きる・育む・楽しむといった人間性・文化性が強く求められることと思う。

更に、第二創業は素人が成功しやすいということである。玄人、経験者は今までの経験やそれによる価値観が弊害になり、正反対のことは行い難い。戦後、各方面で创业者が続出したのは、空襲によって全て焼け野原となり、古いものを壊すエネルギーが不要であったことは大きな要因の一つである。「新しい酒は新しい皮袋に入れなければならない」という聖書のことばにあるように、新しい事業は新しいヒトにより成し遂げられるのは一つの道理である。私たちは素人にならなければならないし、また、素人の分野（住以外、または住でも自分にとって素人の分野）に強い関心と、思い切って踏み出す「はじめの一歩」が大切であると思われる。

「はじめの一歩」は、今まであった商品に関しての不足・不満・諦観といった、僅かな、しかし業界ではそれが当たり前と言われるような、ちょっとした問題点を取り上げることからスタートしているケースが多いようである。馬鹿げたクレームを真剣に採り上げ、それに情熱を持って新創造する機会がやってきた。

◆ 合縁木縁 ◆

◆ 自遊ご異見番 ◆

「展示会」

先回、展示会に出店した時のことなのですが、ブースにそーっと近づいて来たお客さんに気づき、声をかけました。商品を一通り見て、2、3質問し、「ありがとう」と言い、かえって行きました。

2時間後ぐらいに再び現れると、商品についての質問をして来ました。ピンポイントで2品。どちらもグリーン材。こちらの商品は、A D材(天然乾燥材)との説明を加えると深く商品に対しての質問が出て来ました。天然乾燥材の切っても切れない宿命である「割れ」についても何も抵抗もない様子で、オーバーサイズであった事にも気に入ったとの事でした。

もう一つは、グリーン材。そこでも何点かの問いにお答えし、購入して頂きました。K D材(乾燥材)の商品もある中で、偶然にグリーン材だったのかな?と思い、乾燥してある土台はどうですか?と勧めてみるも、「乾燥材は使わないから」との回答でした。しかも「高温」、「低温」との質問。まだ低温なら使用しているとの事でした。30代半ばぐらいであろう大工さん風(事務派ではないと言う意味)にみえましたが、こだわりを感じました。

購入のポイントについて、いろいろ聞いてみたところ、手加工する為、高温乾燥した材は粘りがないのでなるべく使わないようにしている事と、バンドルの量がちょうど良い大きさだったとの事でした。

展示会の商品について割と大きく作ってしまいましたが、商品によっては、小さめの梱包も必要なんだなあと再確認出来た事が良かったです。次回の展示会ではその事を踏まえて準備をしようと思います。展示会での良い所は、実際使って頂ける人の生の声が聞けると言うところもあると思います。

改善するところは改善し、又、内地材を使って新築する家が増えることを願ってこれからも販売していきます。

当日は、雪もチラつく中の悪条件ではありましたが、このようなイベントに参加させて頂いた事に感謝しております。以前、ある人が言った一言を思い出しました。「お客さんが『ニコッ』として帰られたならそれが一番良い商売だよ」と。

次回は、日本製紙木材株式会社 名古屋(営) 椿高幸氏にお願いします。

「春の景色」

冬の殺風景な景色から一転し、この時期になると次々に色々な春の花が咲き乱れ、木の芽が吹き出し若葉色が目に入ってきます。

また寒い日々から少しずつ過ごしやすい気候となってきました。やがて穀雨を迎え雨の多い時期になり、田畑が水で潤う頃となります。

弥生という3月の旧暦を示す言葉がありますが、弥生の時期は新暦に直すと3月末から5月上旬でちょうど今の時期を言います。ちなみに弥生とは「いやおい」ということができ、弥は「いよいよ」生は「おいしげる」という意味も一説にはあるようです。

新しく社会人になられた方や今年度で定年を迎えられる方はもちろんのこと、新年度に入りそれぞれが新たな気持ちで春を迎えていることと思います。そして、この桜の時期には入学や入社、出会いや別れなど色々な思い出があることでしょう。

ともすればマンネリ化しがちな日々ですが、休みの日に桜の下を散歩しながら行くと心が和み少し心の余裕ができます。リラックスできます。そして色々な思いが巡ってきます。通勤の道でいつも見逃していた風景の中、こんなところに花があったのかと気づく事があります。

このように環境の変化により、普段気づかなかったことを発見したり、思いつかなかったことを思いついたりすることがあります。そんなこともあり四季のある日本に生まれ季節を感じながら生活することに感謝しています。そんな日本の春が私は好きです。

さまざまな事おもいだす桜かな

松尾芭蕉

(1頁つづき)

第5号議案 西部木材港開港50周年記念事業について

名古屋港における木材産業の歴史は、約400年前に名古屋城築城までさかのぼることができます。

さらに明治40年代名古屋港開港に伴い、木材業は市街地形成と並行して順次下流へと南下しながら発展しましたが第二次大戦後、合板工業の発展とともに、外材の輸入量が増加の一途をたどり、名古屋港を中心に堀川・新堀川・中川運河周辺を基盤にして木材関連企業が立地し東京・大阪と並んで全国三大港に数えられるまでになりました。外材輸入量の急増は、全国一を誇った貯木場の収容力を超え、港内や河川部まで係留せざるを得ない状態となっていました。

そんな折に伊勢湾台風が襲来し大きな被害をもたらしましたが、それが一つの契機となって木材業界の懸案であった「新木材街」の建設が急速に具体化しました。

西部木材港への進出希望者により昭和35年1月に「名古屋木材街建設促進協議会」が設立され、同36年には西2区の137社が契約を行い、昭和43年12月には木材港の一部が開港され順次企業の進出が開始されました。

以来来年で50周年になるのを記念して記念誌の発行や、記念植樹、記念パーティーなどを企画したらどうかとの声があがっています。

その企画や実施のために嶺木理事長を始め、理事役員の皆さんを中心に準備委員会を設置し推進していくことになりました。

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

すぐメールを知っていますか？

愛知県警察では、企業、団体、グループ等の担当の方のパソコンに「防犯情報」「交通安全情報」等を配信しています。登録を希望される方は、下記にアクセスしてください。

<https://service.sugumail.com/aichipolice/member/>

- ★配信する情報に資料の添付を想定していますので、対象はパソコンとしています。
- ★受信された方から従業員、構成員の皆さんに配信・配布・回覧等による周知をお願いします。

◆ 広告コーナー

http://www.iidakg.com

育て木材の未来
Iida 独創の未来を拓きます



各種木工機械・産業機械・レーザ加工機・試験機の総合メーカーです。

飯田工業株式会社
本社 愛知県小牧市大字村中153番地 〒485-8655
TEL0568-75-5321 FAX0568-75-5329
http://www.iidakg.com E-mail:gyomu@iidakg.co.jp

人と国産のことを一歩進んで考えています
中国木材株式会社

どう使う!?

ムク・ボード

国産スギ・国産ヒノキ
床倍率3.0倍 (標準サイズのみ)
F★★★★

イ味があつてイですよ。

標準サイズ	厚み: 24, 28
	大きさ: 910×1820
	955×1910
	単位: mm 1000×2000

活用術はコチラ 中国木材 検索

発行 名古屋木材組合
発行者 西垣洋一
〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10
TEL <052> 331-9386
FAX <052> 322-3376
【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合
発行者 嶺木昌行
〒490-1444 海部郡飛鳥村木場1-74
TEL <0567> 57-2017
FAX <0567> 57-2018
【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会